

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		
	2 職員の配置数は適切であるか	5		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		毎日子どもが退所した後に使用したおもちゃや机、床などの消毒を欠かさず行っている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		頂いた意見に対して改善を検討する
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	SNSなどで保護者や事業所等に活動だったりを毎日更新している。毎日更新しているが、また新たな活動や宣伝などをアピールしていくべきである
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1日の流れを視覚的スケジュールツールにしている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		全ての項目から考えて設定している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		

支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		毎月集団活動のスケジュールを作成している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		支援前には1日の流れを職員全員で共有し、送迎など組み入れている
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		支援後は1日の子どもの動きだったり、疑問点などを話し合いその日のうちに次につながる支援内容を考えている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		日頃の様子を話し合い、今の様子を職員で共有している
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	現在利用中に方に当てはまる方はいませんが連携できるようにしています
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	今まで必要とされていなかったが会議等あれば、対応する
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	
支援の実施	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		地域の子ども支援部会連絡会には参加している
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていているか	3	1	日頃から話をしやすい関係作りに努め、共通理解をしている

	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	1	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		職員全員が目につく場所への設置をしている
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	祝日などに父母参加の活動と取り組んで父母同士の交流を深めていく計画 令和6年度より保護者の皆さんのが集まれる場所の提供が出来るように年間通して検討している
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		ファイルなどしまっている棚には毎日施錠をするように徹底している
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	近隣の公民館での活動や老人ホームなどへ子どもたちからの絵のプレゼントなどの交流を行っている
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		マニュアルなど職員の目に入る場所の設置や県、市からの情報などは回覧板によって回している
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		避難訓練などを活動の中に取り組んでいる
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		毎月の会議に必ず議題で入れて共有している
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		別紙で1枚用意している

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			十分なスペースだと思います
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			2	適切だと思います
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9				色々貼られていてわかりやすいと思います
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				靴箱や荷物置き場、子どもの水道、トイレもありよう環境だと思います
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	9				されていると思います
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				設定されていると思います
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9				行われていると思います
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8			1	毎月色んな活動をして頂いてると思います
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7			2	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				説明してもらいました
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9				説明してもらいました
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング*4等）が行われているか	7	1			1 行われていると思います
	13 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるているか	9				出来ていると思います

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				行われています
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	2	3	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8				1 対応していただいている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1			されています
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1			1 発信されていて楽しみにしています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9				されています
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	1			1 訓練もしていただいている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1			1 行われています
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8		1		とても楽しみにしています 楽しみになるような対応はして頂いてま
満足度	23	事業所の支援に満足しているか	9				しています

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。